

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 30日

富山県知事

新 田 八 朗 殿

提出者

住 所 富山県高岡市石瀬1928番地

氏 名 株式会社北陸化成工業所
代表取締役 中山 浩光

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0766-22-2155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 北陸化成工業所		
事業場の所在地	富山県高岡市石瀬1928番地		
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	製造業 化学工業		
② 事業の規模	前年度の製品出荷額	201,360万円	
③ 従業員数	66名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙②のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	
	排出量	別紙③のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋳さいに含まれる利用可能な鋳物砂を分別し、再生利用することで鋳さいの発生を抑制する。 ・ 工程内ロス無くすよう各製造課で取り組む。 ・ 無機汚泥を排熱を利用して乾燥させ、廃棄物を低減する 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	
	排出量	別紙③のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋳さいに含まれる利用可能な鋳物砂を分別し、再生利用することで鋳さいの発生を抑制する。 ・ 工程内ロス無くすよう各製造課で取り組む。 ・ 無機汚泥を排熱を利用して乾燥させ、廃棄物を低減する 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類は、工場各所に分別ステーションを設置し容器包装リサイクル法対象の廃棄物を分別している。また、事務所からの紙類は「コピー紙」「新聞紙」「感熱紙」等に分別し、古紙リサイクルしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新規に計画している予定は無い。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙④のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙④のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はありません。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑤のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙⑤のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙⑤のとおり t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑤のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙⑤のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙⑤のとおり t	t
①現状	（これまでに実施した取組） ・熱回収は実施していない。 ・無機性汚泥の脱水により、減量を実施している。		
	（今後実施する予定の取組） 無機性汚泥の脱水を継続実施していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑥のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙⑥のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑥のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙⑥のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑦のとおり	
	全処理委託量	別紙⑦のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙⑦のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙⑦のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙⑦のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙⑦のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・「鉱さい」の98%、「無機汚泥」の55%、「廃フレコン」の100%を、再生利用業者に処理委託している。 ・「鉱さい」の41%、「無機汚泥」の68%、「廃プラスチック類」「紙袋」「廃フレコン」の100%を、優良認定処理業者に処理委託している。		

(第5面)

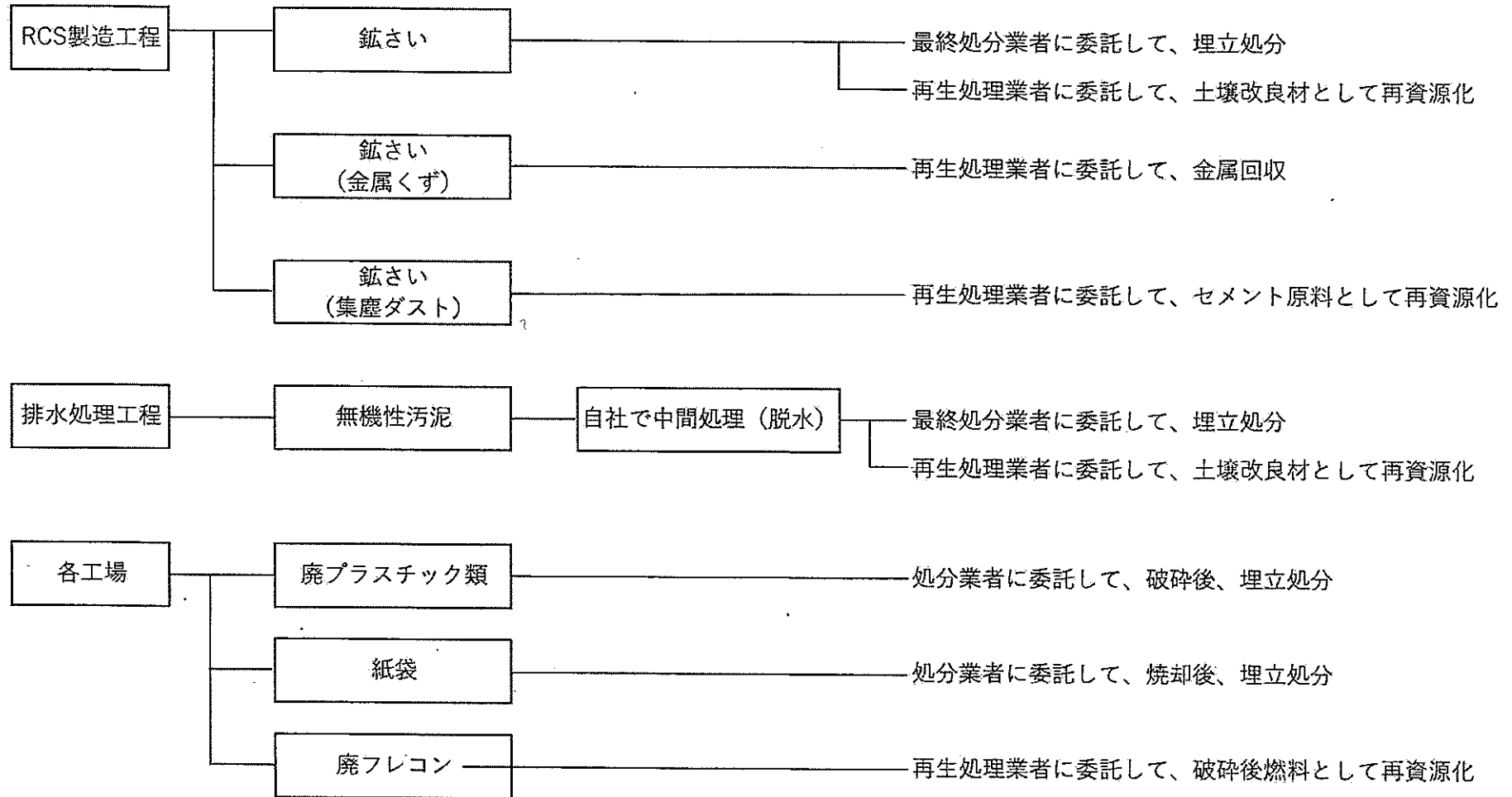
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙⑧のとおり	
	全処理委託量	別紙⑧のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙⑧のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙⑧のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙⑧のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙⑧のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者及び優良認定処理業者への処理委託割合の向上に努める。		
※事務処理欄			

(第6面)

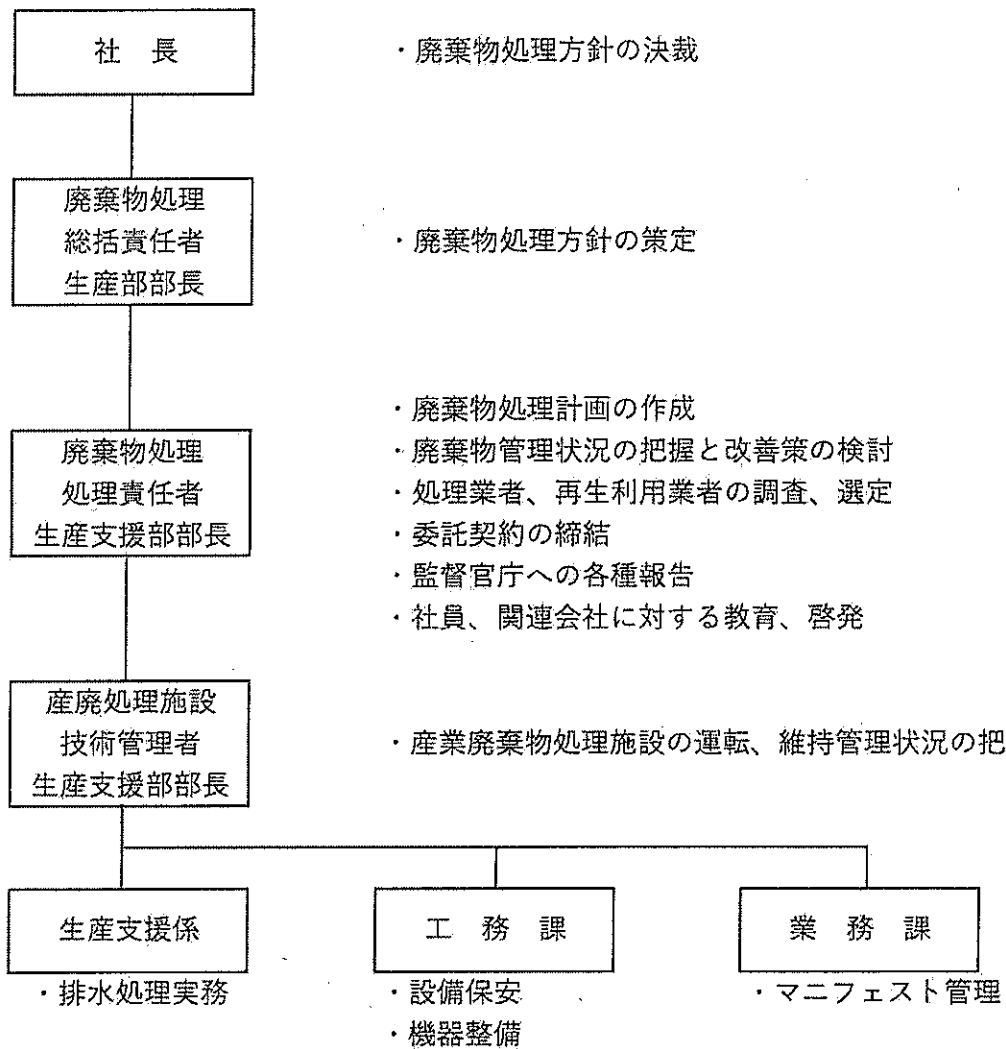
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①：産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙②：管理体制図



別紙③：産業廃棄物の排出の制御に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	排 出 量	3751.0	5230.7	3.5	1.4	3.9
	(これまでに実施した取組)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・鉍さいに含まれる利用可能な砂を分別し、再生利用することで、鉍さいの発生を抑制する。 ・工程内のロス無くすよう、各製造課で取り組む。 ・無機汚泥を排熱を利用して乾燥させ、廃棄物を低減する 					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	排 出 量	3600.0	5100.0	3.0	1.0	3.0
	(今後実施する予定の取組)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・鉍さいに含まれる利用可能な砂を分別し、再生利用することで、鉍さいの発生を抑制する。 ・工程内のロス無くすよう、各製造課で取り組む。 ・無機汚泥を排熱を利用して乾燥させ、廃棄物を低減する 					

別紙④：自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉋さい	無機汚泥	廃プラスチック類	紙袋	廃フレコン
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉋さい	無機汚泥	廃プラスチック類	紙袋	廃フレコン
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。					

別紙⑤：自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	4537.0	0.0	0.0	0.0
	（これまでに実施した取組） ・熱回収は実施していない。 ・無機汚泥の脱水により、減量を実施している。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	4700.0	0.0	0.0	0.0
	（今後実施する予定の取組） ・無機汚泥の脱水を継続実施していく。					

別紙⑥：自ら行う産業廃棄物の埋め立て処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉱さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（これまでに実施した取組） ・実施していない					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉱さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。					

別紙⑦：産業廃棄物の処理の委託に関する事項（①現状）

【前年度（令和4年度）実績】

	産業廃棄物の種類	鉱さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
①現状	全処理委託量	3751.0	693.7	3.5	1.4	3.9
	優良認定処理業者への 処理委託量	1525.9	471.3	3.5	1.4	3.9
	再生利用業者への 処理委託量	3705.2	382.1	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(これまでに実施した取組) ・「鉱さい」の98%、「無機汚泥」の55%、「廃フレコン」の100%を、再生利用業者に処理委託している。 ・「鉱さい」の41%、「無機汚泥」の68%、「廃プラスチック類」「紙袋」「廃フレコン」の100%を、 優良認定処理業者に処理委託している。					

別紙⑧：産業廃棄物の処理の委託に関する事項（②計画）

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	鋳さい(t)	無機汚泥(t)	廃プラスチック類(t)	紙袋(t)	廃フレコン(t)
	全処理委託量	3,600.0	600.0	3.0	1.0	3.0
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,650.0	420.0	3.0	1.0	3.0
	再生利用業者への 処理委託量	3,550.0	350.0	0.0	0.0	3.0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(今後実施する予定の取組)						
・再生利用業者及び優良認定処理業者への処理委託割合の向上に努める。						
・廃棄物の低減に努める。						